



サイバー警察局便り

Cyber Police Agency Letter 2026 Vol.20(R8.10)

フィッシングメールに注意!

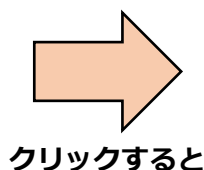
流出したメールアドレスに対する偽メールによって
更なる情報流出や金銭的被害に繋がるおそれがあります!

■ フィッシングの例

●●アカウントより重要なお知らせ

公式 ●●公式メール <info@●●.example>
宛先: npa.taro@example.ne.jp

商品お届けのため、
お支払方法をご確認ください。
<https://malicious-phishing.example/>



クリックすると

<https://malicious-phishing.example/>

お支払方法を入力

クレジットカード名義人

カード番号

送信アドレスを偽装する場合も

偽サイトで情報を窃取されます!

■ サービス利用者の皆様へ

～被害に遭わないために～

- メール内のリンクを**安易にクリックしない**
 - ID・パスワードの**使い回しをしない**
 - **パスキーその他多要素認証**を活用する
- より詳しい対策は ⇒ 警察庁「フィッシング対策」
<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/countermeasures/phishing.html>



■ サービス提供事業者の皆様へ

～利用者を守るために～

- 送信ドメイン認証技術 (**DMARC**) を導入し、「**受信拒否**」に設定する
 - **パスキーその他多要素認証**を導入する
- DMARCの詳細は ⇒
サイバー警察局便り『あなたの会社のメール、「誰でも名乗れる状態」になっていませんか?』
https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/pdf/R8_Vol.11cpal.pdf
- パスキーの詳細は ⇒
サイバー警察局便り『パスワードだけの認証はもう限界です。』
https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/pdf/R8_Vol.12cpal.pdf



■ 警察の取組

～サイバー空間における安全・安心の確保のために～

警察では、民間事業者と連携して、フィッシング対策を推進しています!

警察庁「マイクロソフト・JC3と連携した犯罪インフラのテイクダウンについて」
<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/koho/news/20261015.html>



警察庁
National Police Agency